

令和3年度佐渡市事業レビュー”+α”実施スキーム

(行政改革推進委員会を外部評価委員とした行政評価)

事業レビュー		業務効率化									
5月	[1] 事業レビュー対象課の選定【企画課、財政課、総務課】 対象課：企画課、建設課、上下水道課、交通政策課、世界遺産推進課、環境対策課、学校教育課、教育総務課、消防本部 任意事業、義務的経費、財源等により、事業レビュー対象候補事業の絞り込み。										
6月	[2] 事業レビューの実施通知【理事者】 ※ 実施の公表については、市長から行革委への諮問書により公表。										
6月	[3] 担当係長ヒアリング【総務課、企画課、財政課】 『現状、1番大事な事業は何か？』 『敢えてスクラップするとしたらどの事業か？』 「それぞれ1個ずつ教えてほしい」…というレベル。	業務効率化意見交換【総務課、企画課、財政課】									
	[4] リストの作成【総務課、企画課、財政課】 ①「どうしても残さなくてはならない事業」 ②「スクラップ対象事業」（20事業程度）	全課全係長を対象に、業務効率化をテーマに意見交換を行う。									
	[5] リストの精査【総務課・企画課・財政課】 [4]②リストより、事業レビューに諮る事業の決定。 (※1)スクラップ対象事業ではあるが、事業レビューを論破できれば救済の余地は残す。 (※2)当然、予算査定ではスクラップ勧告の対象となる。	< 内容 >									
	[6] 事業レビュー対象事業の決定【行政評価委員会】 (※3)1課に複数の事業が対象とならないよう配慮。	参集者：各係長…課単位									
7月	[7] [6]対象事業のレビューシート（花まる通信簿）の作成【事業所管課】	総務課、企画課、財政課…補佐									
8月	[8] 事業レビューの実施【行革推進委員会】 [6]対象事業の事業説明【事業所管課】 「なぜこの事業が必要なのか」を説明。 (※4)説明方法は問わない。定められた時間内で説明する。	・「業務効率化意見交換」									
	評価シートによる採点【行政改革推進委員会】 <table><tr><th>評価</th><th>評価の理由</th></tr><tr><td>イ 廃止</td><td></td></tr><tr><td>ロ 事業全体の抜本的な改善</td><td></td></tr><tr><td>ハ 事業内容の一部改善</td><td></td></tr><tr><td>ニ 現状通り</td><td></td></tr></table> 評価結果速報による通知。 ※5 評価結果の取りまとめをその場で事業所管課へ通知する。	評価	評価の理由	イ 廃止		ロ 事業全体の抜本的な改善		ハ 事業内容の一部改善		ニ 現状通り	
評価	評価の理由										
イ 廃止											
ロ 事業全体の抜本的な改善											
ハ 事業内容の一部改善											
ニ 現状通り											
11月	[9] 評価結果を市長答申【行革推進委員会】 「評価」及び「評価の理由」に基づく整理。 新年度予算査定において課題として担当課へ再度ヒアリング (※6)外部評価において廃止勧告を受けたとしても予算要求は可能。ただし、査定時に評価結果の集計リストに掲げられた課題について解決していることが条件。	②「繁忙期の係間の職員融通は可能か？」									
		意見集約し、全庁で共有									
		各課（係）で検討									
		対応可能な課、分野から改善着手									
		改善事例を全庁で共有									
		新年度組織体制の検討資料として活用									